

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙

発行:武笠真次

〒336-0011さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階 編集:澤藤俊昭

TEL・FAX 048-838-0640

http://www.tozanns.justhpb.jp/

目次

- 1 p) 第14回遭難防止・安全教育担当者会議報告
- 2 p) 第45期第1回評議会報告、他
- 3 p) 第17期登山学校
 - 第1回講座「計画から下山まで」を終えて
- 4 p) 西部ブロッククリーンハイイク報告
- 5 p) 岩ネット、沢ネット、救助隊訓練報告
- 6 p) 理事会報告、お知らせ、他



ツユクサ

第14回遭難防止・安全教育担当者会議報告

期日 6月17日(日) 9:30~12:00
 場所 大宮・高鼻コミュニティセンター
 参加 13団体15名 他 理事 計22名

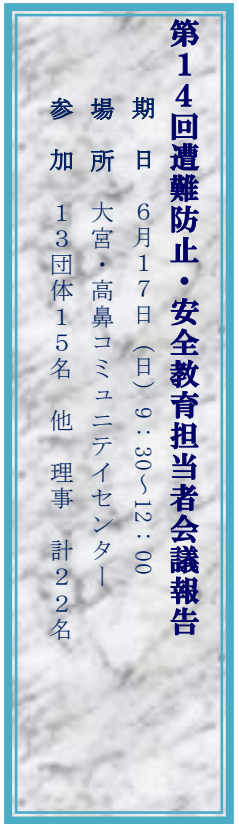
参加団体出席者…

三郷山の会(八木原健一、金子富江)、わらび山の会(伊藤正勝)、桝歩富士見山の会(青木正)、上福岡山なみ(古畑秋夫)、ハイジアルペン(木阪康弘)、ピスターリ(染谷久士)、北本山の会(千葉一郎) 富士見市峠山の会(宮川修一)、新座山の会(井上順司)、浦和山の会(水谷克明)、日和田アルパインクラブ(甲斐嘉紘)、熊谷トレッキング同人(木村哲也)、大宮労山(小島満、谷脇京子) 議題

★春山遭難事故の検討

5月4日午後から吹雪になり午後4時には氷点下2度まで低下。寒気を伴った気圧の谷が通過して天候が急変した。そんな中での遭難事故であった。トムラウシの遭難事故事例があったにもかかわらずいずれも低体温症

での死亡であった。春山は天候が急変すると一気に冬山へ



逆戻り、



計画を立てる段階で、どの地点で進退を見極めるか難しいか

もしれないが登山者は気象の知識と判断力を身につけて安全な登山を目指してほしいと思います。

①北アルプスでの∞名死亡(白馬岳の名、涸沢岳一名、爺ヶ岳一名)

②槍ヶ岳で落雷によるけが1名 埼玉県連でその時期に入山していたパーティは大宮労山の剣岳、桝歩富士見山の会の燕岳(常念岳、三郷山の会の槍ヶ岳、熊谷トレッキングの槍ヶ岳)。

★ヒヤリハットの事例報告

南部ブロック(三郷山の会、わらび山の会、あすなろ山岳会)でのスノーシュー交流バスハイキングでのヒヤリハット報告書から伊藤ブロック長から説明報告がありました。

日時:平成24年2月12日
 天候:雪 視界不良

場所:裏磐梯猫魔スキー場(雄国山コース)
 山行人数:4団体28名

【状況】

①班編成で雄国沼へ下山するもスキートレールに入り、誤りに気が付き①班は引き返し正規ルートに戻ったが②班はそのまま急斜面を下り進む

(この時点でパーティ分離)

最終的には①班合流したが雪山でのヒヤリハットであった。

【原因】

①ルート確認、コンパスの使用の怠慢 ②リーダー、メンバー構成の役割分担の不備。③悪天候でのあせり ④ルート経験がある油断。⑤迷った時には引返すの鉄則が守られていない等。

★救助隊より

セルフレスキューのアピール ②救助隊2012年度活動方針の実施に向けての説明。

⑤「机上・実技」を通じて山のピンチから抜け出すために

もセルフレスキューとチームレスキューを普及する。

② 10月20日(机上訓練)
 21日(実技訓練)

③ 水谷氏よりセルフレスキューの重要性・大切さの説明。

④ 会レベルに対応したセルフレスキューが必要である。

⑤ 実技場所での設定、案を救助隊で提示。

⑥ 救助隊よりテキストを作成。⑦ 各会の要望を聞く為にアンケートを発信する。

★その他

① 登山時報の月号「六甲山・西山谷での行方不明 死亡事故は、私たちに何を問いかける

か」計画書と単独登山からの文章を読んで下さい。
 ② 埼玉県内の平成23年の遭難件数29件、遭難者数29人(内死亡事故2人)

ヒヤリハット報告書は適宜、遭難防止・安全教育委員会まで提出して頂きたいと思えます。

2012.06.28 遭難防止・安全教育委員会 担当理事 尾手



遭難防止・安全教育委員会より

- ・今後の遭難防止・安全教育担当者会議でのヒヤリハット事例報告を募集しています。氏名等の諸名・秘密は守ります。
- ・今年もいよいよ 冬山シーズンが到来します。加盟団体で冬山計画をしている会は、計画書の提出、報告等へご協力をお願いします。

担当 尾手

@登山学校から!

9月講座「地図の読み方」

机上 9月1日
 実技 9月2日
 中央沿線 菊花山

10月講座「初級岩登り」

机上 10月13日
 実技 10月14日
 奥武蔵・日和田山

11月講座「天気の見方」

机上 11月3日
 実技 11月4日
 中央沿線 岩殿山

以上、第4回〜6回までの登山学校を予定しています。
 * 8月講座報告は次号で受講生の方へ感想や登山学校への意見をお寄せ下さい。(尾手)

埼玉労山 第1回評議会報告

〔日時〕 2012年6月17日(日) 午後1時30分

〔場所〕 高鼻コミュニティセンター

評議員定数(31名) 出席19名 評議会成立

去る6月17日、大宮の高鼻コミュニティセンターに於いて、

埼玉県勤労者山岳連盟第1回評議会が開催され、天候不順の為会山行を取りやめ出席しました。

まず、挨拶を兼ねて理事長より議事内容の報告がありました。

①賠償保険加入アピール!

第三者に対する賠償責任について、個人賠償プランや主催者側行事賠償プラン、公開ハイクなどや新しい会員が入会する際に有効な短期掛け捨てプランなど個人や会で主催する側の行事のリスクを減らすには...というテーマで労山加盟で格安に提供しているセブン>保険の紹介がありました。

②県連の事故対策と保険!

県連行事『登山学校、岩ネット等』の参加者に対する安全と事故対策、また賠償問題等で参加確認書を貰う事について趣旨説明があった。

③新特別基金申請の注意事項!

事故を起こさない事が基本だが、計画書に受理日「会の山行部担当者が計画書の内容を確認した日」を山行計画書に記載されていない会やクラブが多く、申請にあたり追記とケガ等の事故を起こした場所を地図に記し

て全国連盟や埼玉労山理事長宛に送付頂ければ有り難い。

④個人会員制度制の取り組み! 個人会員について千葉県連の取り組みを「千葉ニュース」から紹介がありました。

⑤その他 各委員会等から報告

*自然保護委員会: 加納理事 a、植樹とクリーンハイク報告 来年度からゴミの多い所から集中的に清掃しようという提案。

b、放射線量測定のお願ひ 埼玉労山で全国連盟から測定器を一台借入。貸出希望される会は積極的に申し出てほしい。

*女性委員会: 久保理事

a、東日本女性交流会 10/13~14 山形で開催。男性も歓迎。

*沢ネット: 徳重理事

8月、9月沢登りを計画。詳細は打ち合わせ会で

*その他

岩、救助隊、登山学校、ハイキング委員会より 以上。

記録報告: わらび山の会

理事 近藤健一



石田先生のあなたの山筋は大丈夫ですか? の第一声で講義が始まりました。

今現在自分の体がどうなっているか、登山に適した身体になっているか知るから始まり、一言、一言胸にズシント来ます。

中高、老年期になってからの登山は、やはり自分を知ることから始まります。登りたい山に適した自分の体力、登りたい山に適した筋力を維持し続ける事が出来るかという事になります。

なぜか多い50代以降の事故、女性に多い無雪期の事故? エッどうして、ゴーゴー体操の冊子を読んでみますと事故の70%が転倒、滑落となつています。

その原因が、50代以降急激に骨量や、筋力が低下するからなの分かりました。それを防ぐために、先ず自分を知ることから始めなければならぬという事なのです。

幾つになっても遅筋は身につける事が出来るそうです。登山に必要なのは速筋ではなく遅筋なのですからうれしい事ではありませんか。

登山を継続していても加齢とともに筋肉量は年々落ちる。

しかし、トレーニングすれば遅筋は増や事が出来るのです。登山を趣味とする女性は質の高い、満足度の高い生活を送る事が出来ると思います。

60代、70代と高齢期に向かつて必要なのは体力、栄養、休養だそう。皆さん肝に銘じましょう。

早速生涯登山を目指してゴーゴー体操をしていただきました。短い時間ではありましたが、参加者全員真剣に汗を流しました。これは是非続けていきたいと思えます。

全国女性委員会 主催 「第4回女性登山者のための継続した体力管理のための体力測定」に参加して

笠井美佐子 塾歩歩富士見山の会

午後の講習はサプリメントの話でした。講師はお菓子の会社江崎グリコサプリメント研究室の方たちでした。(うれしいお土産もたくさんいただきました) 登山という行為は、非日常的な行為なので栄養を取り込む順位が実にはつきりしているという事です。

1 酸素、2 水、3 Na、4 エネルギー、5 身体材料(アミノ酸)、これはしっかり納得できます。水はスタート前にしっかり飲んで

でよく事、喉が渇いたと感じた時はその時点で相当脱水した状態であるという事を覚えておく事、不足になると筋肉が攣りやすくなる、登山中は、減塩の食事はダメ。

エネルギーは炭水化物をしつかりとる。身体材料と言うのはサプリメントのアミノ酸を直接とるという事。

どうしても年齢を重ねて来ると膝に違和感、あるいは痛みを感じ易くなりがちですが、そういう時はサプリメントの力を積極的に借りてもいいのではないかと思います。

日曜日と言う事もありません。会山行と重なったという事もあるかと思いますが、もっと関心を持って受講したい課題ではないでしょうか。



第12回 東日本女性登山交流集会

期日 10月13日(土)~14日(日) 一泊二日
会場 赤倉温泉「あべ旅館」 山形県最上町
参加費 1万円
内容 10/13(土) 講演会&交流会
講師 登山医学界 野口いづみドクター
保健学博士 石田良恵先生
高桑順一氏(神室連峰の自然を守る会)
10/14(日) 神室連峰交流登山
主催 日本勤労者山岳連盟女性委員会
主管 山形県勤労者山岳連盟

*埼玉県連女性委員会の取り組み!

8/6 現在 名参加する予定です。

*神室山は素晴らしいところです。

締め切り以後の参加希望者は早目の申し込みをお勧めします。

一人でも多く参加し、自然や文化の豊かな最上町でお会いしましょう。


各会ごとに全国女性委員会へ申し込み

五月の開校式・ガイダンスを終え埼玉県勤労者山岳連盟の第十七期登山学校が始まりました。第一回目の講座は、「計画から下山まで」の講座を六月九日机上講義、十日実技で行われました。講義内容は、小松講師による山登りをするための計画から準備、山の選定等をはじめ計画書の作成方法、コンパスの使い方についての講義でした。明日の実技の為に四班に分かれ計画書作成やコンパスの使い方を習得しました。

翌日の実技は、JR宇都宮線小山経由と東武日光線栃木経由に分かれJR両毛線に乗って集合場所の富田駅に九〇三到着。当日は、駅からハイキングのイ



第一回講座
「計画から下山まで」を終えて



登山学校 第1回講座

計画から下山まで

6月 9日	机上
カルタスホール	
参加者	35名
6月10日	実技
栃木・大小山	
参加者	36名

ベントがあり小さな富田駅にたぐさんの乗降客が下りました。我々総勢二五名は昨日決めた四班に分かれ、一路三柱神社へ向けて出発しました。三柱神社で各自作成した登山計画書を班ごとに集め提出し、その後ストレッツ体操を行い出発。阿夫利神社に到着後登山開始、女坂分岐を経由して、展望スポット。大小山からは広大な関東平野の先に東は筑波山、南には東京スカイツリーや新宿の高層ビル群を見ることができました。その後、大小山、妙義山のピークを踏んで楽しい昼食、昼食後再出発をするものの後続が・・・やまゆり学園へ向かい山を降り再び登りかえすというハードな行程であった。登山の途中何度もコンパスを振る場面を作ったのではないのでしょうか。



天気予報では雨が心配でしたが登山学校の生徒及び講師の日頃の行いが幸いし、何とかもつてくれました。登山学校の初めての登山で班内ではあります仲間の名前と顔が一致することができました。

阿夫利神社で整理体操のストレッチを行い、集合写真も撮り終えて無事解散致しました。十五・四二の電車に乗って無事帰宅。メタボの私は万歩計をつけての登山でした。

我が家について歩数を確認二七、七二八歩。楽しい一日を過ごさせていただきました。登山学校の仲間と講師に感謝いたします。

受講生 尾林雅男 記

六月九日(土) 机上講座
いよいよ初回の講座、楽しみに会場へ向かいました。まずは遭難に関するスライドを見ながら登山計画書の必要性を説明していただきました。私は、これまで個人や友人との山行で登山計画書を作成したことがなく、予定の行程をメモしておくだけだったので、今回の「登山計画書が書けるようになる」という目標を実践できるよう心がけたいと思います。分かり易いテキストを用意していただき、山の選び方から装備、プランの立て方、パーティの役割、登山中の歩き方やマナーについて、断片的に知っている事柄を確認したり、不足していた知識を整理することができました。

小松講師の実際の登山を例としたプランの立て方は、実践的で参考になりました。また、初めてコンパスを使ってみましたが、地形図の見方を知らなかったのですが、コンパスを振ってみると自分の向かう方向を示すことができるんだなんて「なんて賢い道具なんだ」と感心しました。しっかりと使えるようになりた



「計画から下山まで」を終えて

六月十日(日) 実技講座
心配していた天気もまずまず、暑いくらいの陽気で登山計画書の行動予定にそって各地から富田駅に集合しました。

早速コンパスを振ってから、グループごとに出発し、途中の神社で準備体操を行います。登りと下りの歩き方を確認し、田舎道から登山口へ向かいました。里に近い低山ということもあってか、地図にない登山道もあり現在地の確認とコンパスを度々振って目標の位置を確かめるようにしていました。徐々に傾斜もきつくなってきましたが、比較的ゆっくりペースだったため、気持ちよく歩くことができました。途中の見晴台から眼下に田園風景を見渡せ、遠くにスカイツリーも発見しました。

大小山、妙義山のささやかな山頂を踏み、登山道の分岐付近で昼食をとりました。食事後、私たちのグループは一番最初に歩き始め、ワンちゃん連れの登山者とすれ違ったり元気に足を進めていました。しかし途中で踏み跡が不明瞭になり、後続が来ていないことに気付き：どう

いす。最後に、翌日の実技の学習山行の計画書を各自で書いてみました。

安全に登山をする上で、出発前の準備がいかに大切かを教えていただきました。必要十分な装備、山や天気の情報収集等、事前に様々な想定と計画をしておくことで、心身に余裕が持てるのだと思います。



やら道迷いをしてしまったようです。昨日の講義のとおり、来た道を振り返り、正規のルートに戻ることができました。学んだことがしっかりと役に立ったのでした。

いったん集落へ下った後、再び振り返ります。標高に関わらず、このアップダウンは足にきずく歩くと、本日一番の眺めジャンクシヨンピークに到達しました。三百六十度の展望で爽やかな風が心地よかったです。

登山口まで降りた頃、小雨がパラパラ。全員が無事に下山し、整理体操や山行のまとめを行って解散となりました。

大小山は、思っていたよりも歩き甲斐のある山でした。グループの皆で声を掛け合いながら歩き、楽しい山行になりました。電車での移動中も、山の情報交換や装備の工夫などの話であったという間に時間が過ぎていきました。講師の皆さまにはお世話になりました。

受講生 岩下 愛 記

西部ブロック

県民クリーンハイク 報告

西武秩父沿線&吾野駅集合

日時 5月27日(日) 電車利用、日帰り
参加者 9団体 85名
コース 顔振峠、子の権現、天覚山、関八州見晴台、他

西部ブロックは西武秩父鉄道の吾野駅に15時に集合とし、それぞれの会が独自のコースでクリーンハイクを実施した。

*ユガテく顔振峠コース

所沢HC(28名) 埜歩歩富士見(2名) 新座(2名)

*子の権現コース

飯能(9名)

*天覚山く大高山コース

峠山の会(9名) ビスタリー(10名)

*関八州く高山不動尊コース

山なみ(2名)

*西吾野北側岩場 清掃

日和田アルペン(9名) 椽(2名)

*ゴミ回収結果

可燃ごみ: 14.5kg
不燃ごみ: 15.7kg
合計 30.2kg



吾野駅で

ナルコユリ



ユガテへの登り

【記録】ユガテく顔振峠

拾ったゴミを入れる袋をもらって準備体操から開始。車道30分を歩き、休憩の後ユガテへの登りにかかる。

ユガテで休憩、水分を補給。エビガ坂から十二曲りに向かうゴミが登山道のそばにあるのはわずか。道から離れた所、下方に見つけることが多い。

山の中に放置されているゴミは、昔に捨てられた空き瓶、空き缶が多い。最近の人はマナーがいい。車道わきにはゴミが多い。車からの投げ捨てだろう。車道の下に降りてゴミを拾う。

ゴミ袋片手に諏訪神社に向かう。ゴミの量はまだまだ多くない。諏訪神社に向かう途中の尾根や諏訪神社入口からの眺望は素晴らしい。奥武蔵の山々が良く見渡せる。

昼過ぎに諏訪神社に到着。日陰で昼食とし、先行要員が調理した味噌汁をいただく。

昼食を終えて、諏訪神社入口



諏訪神社で昼食



昼食を終えて

で記念撮影をして顔振峠に向かうが、歩き足りなく今回が初めての8人は、顔振峠見晴台に登る。残り5人は顔振峠の茶屋でくつろぐ。



顔振峠見晴台で



顔振峠から



全体集会で 会長挨拶

顔振峠から吾野駅に向けて下り始めて数分、右手にすばらしい眺望がひらける。まさに顔振の名に恥じないいい眺めである。絶好の撮影ポイントでシャッターを押したくなる所だ。下る途中では美しいシヤガがあちこちで、たくさん咲いていた。他にもナルコユリや白い花が咲いていた。

吾野駅では所ハイが今回拾い集めたゴミを分別し、秤で計量。登山道でのゴミは年々少なくなっており、ゴミ探しに苦労する感じがあり、ゴミを見つけ、手に入れるには、熱意とコツが必要か! やはり、何かと工夫・実践できるベテランとその見習いがいる。

毎年行っているこのクリーンハイクは西部ブロックに属するクラブや会の合同行事であり、吾野駅前の広場で全体の集会があった。参加した各会から報告がされ、トップバッターで我が所ハイ会長が挨拶と報告を行なった。全体での参加者数85名。拾ったゴミは不燃物15.7kg、可燃物14.5kg。(所沢ハイキングクラブ HPより転載。一部編集しています)



顔振峠富士見茶屋で(新座山の会)



ゴミ分別作業



顔振峠・富士見茶屋にて(埜歩歩富士見山の会)





『第3回岩ネット報告』

平成24年6月23日(土)

奥武蔵・日和田山 男岩

参加者・計8名

岩ネットに参加して

6月23日(土)曇り空の下、クライミングの練習を総勢8名(所ハイ3名 新座山の会2名 浦和山の会2名 わらび山の会1名)水谷講師・松本理事の下、9時過ぎに日和田の現地集合。

集合前に先発隊により、ザイル2本を西面バルジの中間に支点を作り、もう1本をその左5m位、同じ中間点で支点を作った。

その後全員が、水谷講師より本日の安全確認の指示を受けた。始めは女性3名が左側ルートで数回の練習・男性3名はバルジ支点ルート、左右2m範囲を数回に渡り登り返した。

午後からは男女ルートを交代



し、練習に励む。その後、1本のザイルをクラックにセットして頂き、男性2名が登った。

最後に、西面右端のカンテ?を男性2名が登りきり、本日の練習全てを終え、水谷講師より、本日の総合的な話を聞き、練習が終了した。

参加者全員の顔が、みんな楽しく満足している様に見え、次の岩ネットを心待ちにしている様であった。

所沢ハイキングクラブ

清水 記



*追伸

女性4人で川越にて反省会で盛り上がりました。



救助隊

第2回 沢搬出技術訓練に参加して

この夏の猛暑の中で、訓練が行われた7月22日(日)は谷間のように肌寒い日だった。

今回の訓練の目的は、実際の救助が行われる現場に行くために想定される徒渉や、へつり、泳ぎを多くの隊員が経験することである。

場所は山梨県丹波山村の丹波川本流と小常木谷の合流点付近まさに今回の訓練にふさわしい激しい流れである。

青梅街道を下り丹波山の集落を過ぎるとほどなくあらわれる余慶橋で11名が集合。

沢装備を付けて小常木谷出合へと降りる。ガイドには石段があると書いてあったが悪そうなクライムダウンである。

安全を期して立木を使った懸垂下降で河原に降り立つ。ここから対岸に向かって徒渉するのだが、沢になれない隊員には本流徒渉は不安がある。岩にハーケンを打って本流にロープを張る。先に徒渉した隊員が確保しつつ一人一人がロープにカラビナを通して徒渉する。小柄な隊員の胸位までの深さがあり緊張

する場面である。

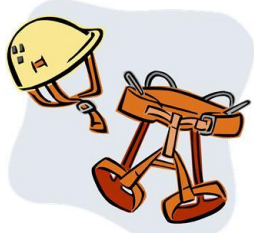
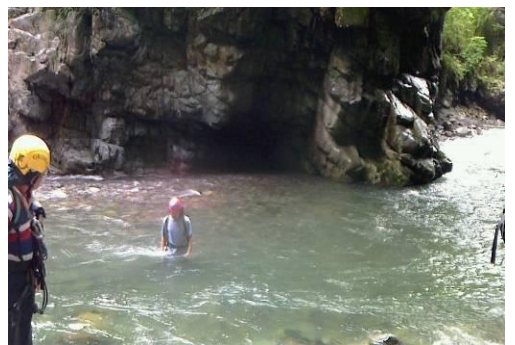
全員が徒渉し、小常木谷を遡行する。水量が少ないので特に難しいことはないが、両側が絶壁の深いゴルジュの底で増水時は厳しいだろう。5分ほどで火打石谷の出合があり岩岳尾根への登山道が横切っている。出合は広くほつとできる場所である。丹波川本流まで戻り、左岸を中心へつりや泳ぎを中心に300mほど遡った。ぎりぎりまでへつって覚悟を決めて流れに飛び込み、足がつかない数メートルを泳いだ。ヘルメットやザックが動きを制約してうまく泳げない。ほんの10秒間位だったと思うがもつと長く感じた。

個人的な反省だが、ザックの雨蓋がずれていてザック内に大量浸水。泳ぎ終えて立ち上がる時に重さに驚いた。

ほんの300mほどの遡行だが全身濡れてしまうと震えが来るほど寒い。たまたま雨具を着込んで寒さをしのいだ。低体温症を予防することも重要である。沢の厳しさを充分に体感したところで本日の訓練は終了。右岸にロープを固定して30mほど登り青梅街道のガードレールに戻った。沢登り特有の水に対する備えと心構えの大切さを再確認した有意義な訓練だった。

熊谷トレッキング同人

浅見政人 記



@埼玉労働山

“沢登りネットワーク”山行案内

初級沢登り

沢に泊って楽しもう!

秩父山系「中津川支流・大滑沢より白泰山」へ

月日 8月25日(土) ~ 26日(日) 山行企画

8月20日(月)19時30分 ~ 浦和パルコ9Fに於いて

秋の沢登り

二つの沢をつないで笠ヶ岳登山 「湯檜曾川支流 東黒沢・ウツボギ沢から笠ヶ岳へ」 谷川連峰

月日 9月29日(土) ~ 30日(日) 山行企画

9月24日(月)19時30分 ~ 浦和パルコ9Fに於いて

【問合せ・申し込み先】

担当理事 徳重博文(大宮労働山)

TEL 048-664-6154

携帯 090-18841-6482

① 沢登りは登山の中でも、大変危険なジャンルです。山行企画会議に参加し、十分注意して登りましょう。

② 山行企画会議で予習しながら計画を立てます。

③ 労働山特別基金に10口加入をお願いします。

理事会報告

第5回理事会が7月25日(水) 県連事務所にて12名の出席で行われました。

*全国連盟活動

・6/30 新特別基金担当者会議 (於:連盟事務所) 12名参加

*県連全体活動

【事務局】

・関ブロック役員交流集会 9/8~9

・関東ブロック自然交流集会 10/27・28 (主管:千葉県連)

・安全講演会の会場予約:高鼻

【財政】

・連盟費:5団体未納、請求

【機関紙】179号発行予定

【HP】各委員会活動掲載

・各 HP担当者の協力を

【女性】6/10 山筋体操講習会

・新体連 秋田駒登山祭典:1名

・東日本女性登山交流集会

【ハイキング】

・全国HC学校 奥多摩観光荘

9/22~23(リーダー学校変更)

【自然保護】

・10/27~28 関東ブロック自然

保護集会(千葉県)参加を。

・放射線量測定をお願い

全国より1台借入。貸出しま

す。積極的に測定を。

【海外】6/30~7/11カナダ・ス

ローハッシュュ周辺クライミン

グ(日和田ARP 西津他 3名)

【遭難防止・安全教育】

・6/17 AM 遭難防止・安全教育

担当者会議報告 13団体 15

計 22名

【救助隊】

・7/9 沢訓練机上学習 11名

・7/22 沢救助訓練 丹波川小常木沢 11名参加

【登山学校】6/4運営委員会

・第2回講座「登山と運動生理」

7/7机上(37名) 7/8実技

那須茶臼岳(35名)

・第3回講座「山での救急法」

8/4机上 8/5実技日和田山

【岩ネットワーク】

・6/23 第3回RCT 8名参加

次回は7/28

【沢登りネット】

・初級沢登り

「沢に泊って楽しもう!」

期日 8/25(土)~26(日)

場所 中津川支流・大滑沢

白泰山(秩父山系)

企画会議 8/20(月)19:30~

浦和パルコ9Fに於いて

・秋の沢登り

「二つの沢をつないで笠ヶ岳」

期日 9/29(土)~30(日)

場所 湯檜曾川支流東黒沢

ウツボギ沢/笠ヶ岳

企画会議 9/24(月)19:30~

浦和パルコ9Fに於いて

【ブロック活動】

西部:次回ブロック会議 9/13

南部:6/21 8/24ブロック会議

クリーンハイイク総括交流会

【議題】

1、関東ブロック役員交流会

期日 8/8(土)~10/9(日)

場所 表丹沢大倉・滝沢園

参加確認:武笠、木村、他

2、全国ハイキング学校開催

期日 9/22(土)~23(日)

3、関東プロ自然保護交流集会 期日 10/27(土)~28(日) 場所 千葉 参加確認:加納、他自然保護 4、安全講演会について 期日 11月18日(日) 受付 13:00~ 開演 13:30~ 会場 高鼻コミセン(予定) 会費 500円~ 予定 定員 90~100名 講師候補:猪熊隆之氏 『山岳気象に伴う遭難事故』 山岳気象予報士、山岳気象予 報会社「ヤマテン」代表取締役。中央大学山岳部監督で、 エベレスト西稜やチョムカン リなど登攀歴あり。ヒマラヤ での山岳気象の精度は信頼が 厚く、2011年はNHKグレート サミッツ隊や竹内洋岳チヨ・ オユー隊に貢献。 5.その他 災害支援高速道路利用の件 ・全国連盟個人会員制度募集開 始時期の延期について ・4コマ漫画「オギちゃん」刊 行 一冊1,000円 *次回理事会 8月29日(水) 以上 澤藤



第16回 全国登山者自然保護集会

大気環境問題の現状と山岳環境保全について考える

期日 11月17日(土)~18日(日) 一泊二日 会場 大阪府高槻市・現代劇場、高槻京都ホテル 参加費 10,500円(宿泊代、資料代)交流会費別 締め切り 10月31日 内容 10/17(土) 基調報告、記念講演、連盟報告 受付12:00~開会13:00 講師 兵庫県立大学環境人間学部教授 河野 仁 氏 夕食&交流会 10/14(日) 分化会、交流ハイイク登山 主催 日本勤労者山岳連盟 主管 大阪府勤労者山岳連盟

4コママンガ オギちゃん 1冊 1,000円 ドジで楽天的な主人公 モデルは労山会員 人気マンガ「ワウワウ ハアハア」を『登山時報』に連載中の村松幸一さん(労山部長)が、以前に描いたマンガが1冊の本になった。新日本スポーツ連盟の機関誌「スポーツのひろば」に101回にわたって連載された『オギちゃん』である。村松さんは当時、仙台まで毎週通って山岳登山部に所属していた。その時、会報に描いていたマンガが縁で「スポーツのひろば」の連載が始まった。現在の労山会員をモデルにした主人公「オギちゃん」のドジで楽天的なキャラクターが実に楽しい。労山会員は必読。自費出版のため、注文は全国連盟事務局へ

残暑お見舞い 申し上げます

【編集後記】 梅雨明けとともに暑い日が続いていたかと思いや、夏山シーズンも終盤を迎えて、もう山々は初秋の気配が濃厚です。青い空にアキアカネが飛び交う草原には、リンドウやアキノキリンソウ、マツムシソウ等といった秋の花々が風に揺れています。 しかし、暦の上ではもう秋とはいえまだまだ暑い日が続いております。 熱中症や冷たい飲料水の飲み過ぎ、オリンピック観戦による寝不足等で体調不良を訴える方も多く聞きます。山に出かける時は雷と暑さ対策を万全に、康と熱中症に注意しながらもこの暑い夏をのりきりしましょう。 179号の発行も8月にずれ込んでしまいました。この夏山の情報、山行記録等の寄稿をお待ちしています。(澤)



2012年 関東ブロック自然保護交流集会

期日 10月27日(土)~28日(日) 場所 千葉の山 (未定) 主催 関東ブロック協議会 主管 千葉県勤労者山岳連盟

*詳細は後日お知らせします。 千葉県連が主管しますので、自然保護について関心のある方、ならび各加盟団体から1名位の参加協力をお願いします。現地観察会、ハイキングあり。 —自然保護委員会—